

フォーム

web ページによく見られる入力用フォームやボタンなどのパーツはブラウザが予めパーツを内蔵してそれをタグで呼び出すことで使用できるようになっている。(このためブラウザによってパーツのデザインは異なる。) このパーツを使って閲覧者がデータを送信することが出来る。ただしブラウザはメーラーではないのでそのままでは文字列を読める形で送信できず、通常は解釈させるための cgi プログラムと組み合わせて利用される。

form.htm の作成

site 内に form.htm で作成し、link.htm などからナビゲーション部をコピー



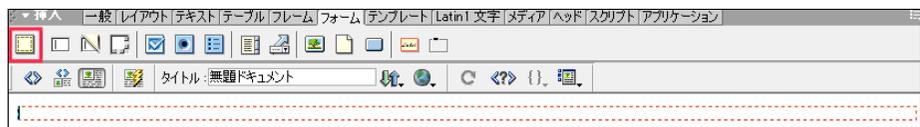
挿入パネルをフォームに



フォームエリア<form>~</form>

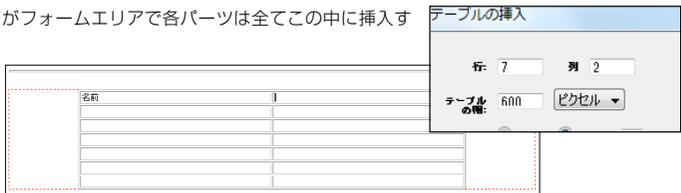
フォームを機能させるには<form>~</form>の中に入れる必要がある。

DW でこれを行うには挿入>フォームをクリックする



赤い枠線で表示されたエリアがフォームエリアで各パーツは全てこの中に挿入する。

フォームエリア内に 7 行 2 列 600px のテーブル挿入



入力フィールド系

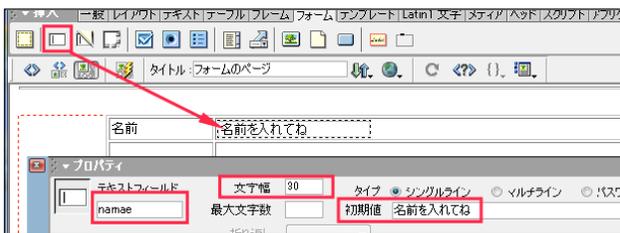
1. テキストフィールドの挿入

テキストを入力するためパーツがテキストフィールドです。挿入>フォーム>テキストフィールドで 1 行右列に挿入。

次にプロパティインスペクタから設定を行う。

パーツのネーム

フィールドに何を入力させたのかの識別名をつけておかないと送られてきた時に何の値か判別できなくなってしまうため名前をつける。(ここでは nameae)



データの送信例

name=value

データは上の形式で送信される名前で識別ができる。VALUE は通常ユーザーが入れた値だが、以下の様式で値を入れておくことで初期値として利用できる。

```
nameae=なまえをいれてね
yuyyo=横浜のどこか
pass=yda474GAKUSEI
seibetu=man
like=top
like=diary
like=prof
zyugyo=kiso
zyugyo=oyo
day=感想などたくさん文字列を入れるにはテキスト
```

文字幅

入力フィールドのサイズを指定できる (ここでは 30)

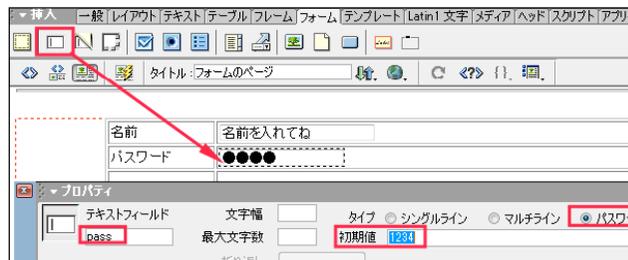
初期値

フィールドに元から値を入れておく場合に入力

ブラウザでプレビュー

2. パスワードフィールドの挿入

テキストフィールドのタイプをパスワードにすることで入力した文字がドットに置き換えられブラウザ上で見えなくなるパスワードフィールドに出来る。



好きな言葉はでフィールド作成

- name:word
- 文字幅 80
- 初期値に好きな言葉を入れる

選択系パーツ

フリー記述よりも選択肢を与える方が入力しやすくなり後からのデータの整理も楽になる。フォームで選択肢から選ぶにはラジオボタンやチェックボックスがある。

3. ラジオボタンの挿入

挿入>フォーム>ラジオボタンで択一式となるラジオボタンを作成できる。

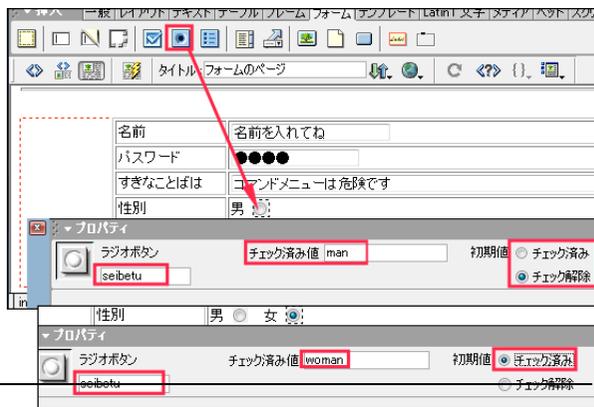
どちらかを選ぶとトグルでどちらかのチェックが消え、丸い形で識別できる。

ユーザーは文字列を入力しないので

name と判別しやすいチェック済み値を入れておかなければならない。

トグルを認識するのに name を用いるので、同じ名前にしないとトグルが効かない。また別の選択肢グループで同じ名前を使ってしまうとトグルになってしまうので name には注意が必要。

初期値にチェック済みにチェックを入れると最初に選択された状態で表示される。



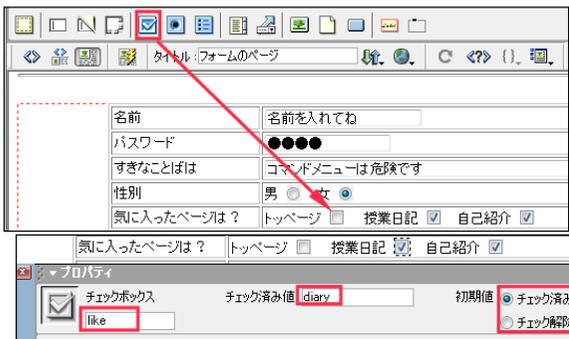
4. チェックボックスの挿入

チェックボックスはラジオボタンと違い選択肢の中から複数を選択できるボタン。外観がラジオボタンの○に対して□になっていることで区別が出来る。

チェック済み値にはこの選択肢のわかりやすい名前を英数半角で名付る

like:top like:diary で送られてくる

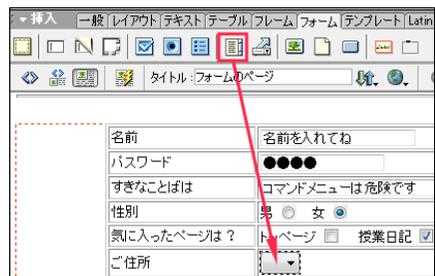
チェック済みにチェックを入れると最初に選択された状態で表示される。



5. メニューの挿入

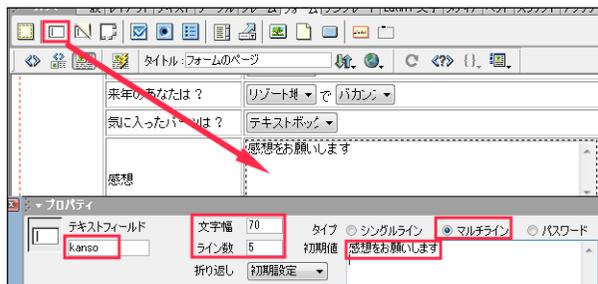
住所などのあらかじめ決まった内容を選択させるのにはメニューが便利。1行で複数の内容を格納しておけるので見た目もスッキリする。こういったパーツもブラウザにビルトインされているのでフォームから使用することが出来る。

メニューに表示される内容はリスト値ボタンから入力できる。



6. マルチラインテキストフィールド

テキストフィールドではマルチラインで複数行のものも作成できる。



7. 送信・リセットボタンの配置

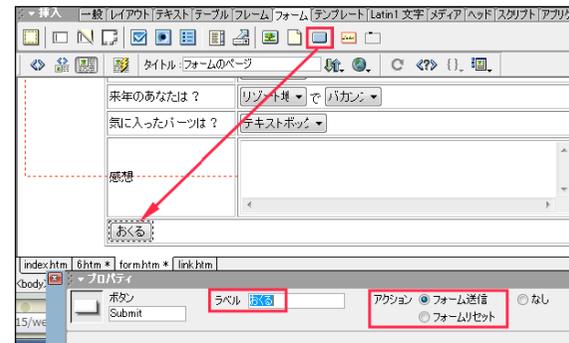
フォームにはデータを送信するための送信ボタンが必要。このボタンもフォームのパーツとして用意されているので簡単に挿入できる。

ボタンには送信ボタンとリセットボタンの2種類の機能があり、プロパティインスペクタのアクションから選ぶことで機能が変化する。

送信ボタン.....内容の送信

リセット.....内容のクリア

ボタンの中に表示される文字は値フィールドに書かれた文字が表示される。

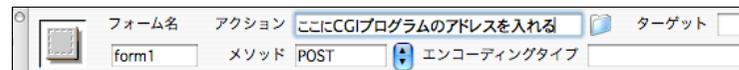


データの送信に関して

これらの内容はブラウザによって送信されますブラウザはメーラーではないので文字などの扱いが上手くないのでそのままでは読むことが出来ない。

そこで、読める形のデータに変換させる CGI というプログラムを通してからメールなどで送信される。

送信に関する設定は form (タグセクタで選択) のプロパティインスペクタで設定



以下の方法を使用すると、対象は限られますが、メーラーが立ち上がり送信させることもできる。

